

令和3年度 芸術「美術Ⅱ」シラバス

科目名	美術Ⅱ	単位数	2	学年	2	コース	全	必選	選択
教科書	高校美術2	日本文教出版		副教材等		各単元に必要な画材・教材			

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	美術について	鑑賞 絵画	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術の力について、考える。 ・自分の気持ちを表現する。 色と言葉で 発表する。 	ワークシート 発言内容 鑑賞の態度
5	日本美術について (琉球の文化について)	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な作品を鑑賞し、日本文化についての理解を深める。 ・日本の美術作品に関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて、多様な視点から分析し、理解する。 ・琉球紅型など、沖縄の独特な文化について調べ、鑑賞する。 	ワークシート レポート 発言内容 鑑賞の態度
6	意見広告をつくる (SDGS を考えて)	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、自己、社会などを深く見つめ、生活に関する主題を考えて表現する。 ・社会の中のデザインの役割を理解し、広告について考える。 ・構成要素を学び、キャッチコピー、ボディコピーを考える。 ・目的や条件などを基に、デザイン効果を考えて創造的で心豊かな表現の構想を練る。 ・画材を効果的に使用して、画面を構成し、制作する。 	アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品
7		鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品の表現の意図を発表する。 ・他者の作品から、作者の主題や制作意図、創造的な表現の工夫を感じ取って、レポートにまとめる。 	発言内容 鑑賞の態度 制作レポート
9	美術館で鑑賞する	鑑賞 絵画	美術館としての社会の中での役割について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品のスライドをみて、作品について、話し合う。 ・美術館の作品をみて、作品について、話し合う。 ・作品の解説を聞く。 ・作品を鑑賞することにより、美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める ・感じ取ったことを ワークシートにまとめる。 	鑑賞の態度 発言内容 ワークシート
10	日本画の制作	鑑賞 絵画	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化について理解を深める ・日本画の制作方法を理解する ・道具や材料の特色について学ぶ ・日本の伝統的な美術の表現の特質や様式を理解し、作品の制作をする。 	クロッキー 制作途中の作品
11			<ul style="list-style-type: none"> ・自然、自己を深く見つめて、主題を生成する。 ・日本画の効果的な表現方法を創意工夫し、心豊かな表現の構想を練る。 ・箔をはる 	完成した作品
12		鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの作品の鑑賞をする。 ・自分の作品の表現の意図を発表する ・他者の作品から、作者の主題や制作意図、創造的な表現の工夫を感じ取って、レポートにまとめる。 	発言内容 鑑賞の態度 制作レポート

1	版画制作	絵画	・版画の種類とその技法と表現について、学ぶ。	ワークシート
2			・版の作成をする。	クロッキー
			・表現意図にあった構図を工夫する。	制作途中の作品
			・刷りの準備をする。	取り組みの態度
			・版画の技法を十分理解し、絵の具を効果的に使用する。	制作途中の作品
3		鑑賞	・自分の作品の制作意図を言葉にして、表現する。	完成作品
			・お互いの作品を鑑賞し、発表する。	発言内容
			・作品や作者の言葉をもとに、理解を深め、レポートにまとめる。	制作レポート

3 評価の観点

美術への 関心・意欲・態度	美術へ創造的活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し 創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

4 評価の方法

美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能及び鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・芸術とは、何であるかを常に考え、そのすばらしさに気づいてほしいと、願っています。
- ・美術Ⅱでも、自己をみつめ、他者をみつめ、個性を大切にしながら、社会の中で強く生きていく力を身につけて下さい。
- ・授業はチャイムと同時に始まりますので、教材や用具を準備し、着席を完了してください。
また授業中は集中して自分自身と向き合い、制作することが大切です。
- ・公欠などでも授業に出席しなかった場合は、必ず授業内容の確認にきて下さい。
- ・提出物は、期限を厳守して必ず提出してください。